

にぎわいコース 奥物部湖湖水祭事業

～奥物部湖湖水祭～

①取組内容

奥物部湖湖水祭は、尊い命を犠牲(24名)に永瀬ダム建設に務められた方々への慰霊と五穀豊穡、ダムの安泰及び地域振興を祈願するとともに、仕事等の関係で県内各地や遠く県外に転出された方々に、故郷での一夜を楽しんでいただくために、昭和31年から始められました。

祭当日は、約4,000個の灯ろう流しや屋台も並び、また、奥物部という山間部(標高約200m)で開催することから、より一層、花火の音や光が際立った打ち上げになるため、地元住民のみならず県外からも多くの観光客が訪れます。

②取組にあたり工夫した点や注力した点

地元の祭りのため、大栃保育園・大栃小学校・大栃中学校の園児及び生徒による灯ろう作成を実施しました。また、寄付金等でご協力いただいた企業様には、祭り当日用の屋台無料ビール券の配布を実施しました。他には、市ホームページへの掲載や、ポスター及びチラシを香美市全域の自治会に配布し、宣伝及び周知を図りました。

③取組による効果

園児及び生徒による灯ろう作成の実施により地域文化の継承活動が図れ、また、寄付金等でご協力いただいた企業様への無料ビール券の配布により、祭りへの集客効果や、企業様に対して、ある一定の恩返しができたと思います。市ホームページへの掲載や、ポスターを香美市全域の自治会に配布したことで、集客効果が図れました。(約7,000人来場)

【祭り当日、会場の様子】



【花火や湖面を彩る灯ろうの様子】



【地元の子どもによる灯ろう作成の様子】



【令和6年開催時のポスター】

